

(様式1)
報道資料提供

提供日	令和 4 年 10 月 24 日 (月)
発表事項 (タイトル)	阪南市いのちを守る植樹祭
要旨・経緯	<p>■目的 認定こども園敷地横の市有地に、南海トラフ地震への備えとして、津波被害を想定して常緑広葉樹の苗木を植えることで、樹木の生育のように園児の防災意識を育みつつ、将来に向けて災害に対する防災林を造成することを目的に、植樹祭を実施します。 また、併せて、園児向けに防災グッズを無償配布し、そのグッズを身の回りに備えていただくことで、園児たちと保護者の皆さんの防災意識の啓発を図ります。 なお、本植樹祭は、AIGジャパン・ホールディングス株式会社と大阪府との連携協定に基づき実現したものです。</p> <p>■開催日 令和4年10月29日(土) 午前10時00分～12時30分</p> <p>■植樹祭会場 認定こども園飛鳥ゆめ学舎駐車場横(開式は旧尾崎中学校体育館)</p> <p>■主催 阪南市、(社福)夢らんど二田</p> <p>■共催 (公財)鎮守の森プロジェクト、AIG損害保険(株)</p> <p>■主な出席者 主催：水野 謙二阪南市長、金田 透阪南市副市長、 谷 淳司(社福)夢らんど二田顧問、 共催：細川 護熙(公財)鎮守の森プロジェクト理事長、 ジェームス・ナッシュAIG損害保険(株)代表取締役社長兼CEO 来賓：山口 信彦大阪府副知事、いとう 信久衆議院議員、 谷川 とむ衆議院議員、 見本 栄次阪南市会議長、二神 勝阪南市議会副議長、 北野 竹次阪南市消防団長、 新木 敏克(公財)納税協会連合会常任副会長、 加山 俊哉納税協会 大阪府下ブロック青年部会長</p>
広報ポイント	<p>東日本大震災では、神社を囲む常用広葉樹を中心とした森が防災林として大きな役割を果たしました。この防災林は津波のみならず、火災の延焼を防ぐための効果もあります。AIG損害保険(株)は(公財)鎮守の森プロジェクトと共に、全国の震災による津波の発生が想定される地域への植樹活動を推進しています。</p> <p>本植樹祭は、大阪府・AIG連携協定に基づき開催されるもので、本市では、令和元年度の実施に次いで、2回目の実施になります。</p> <p>今回は、園児とその保護者、消防団員やボランティアなど約400名が参加し、前回(1千本)を上回る3千本の苗木を植え、その意味を知ることによって防災意識の向上を育みます。</p> <p>開式セレモニーでは、大阪府広報担当副知事の「もずやん」、阪南市のイメージキャラクターの「はなてい」に加え、万博の機運醸成のため大阪・関西万博公式キャラクターの「ミyakミyak」も登場します。</p>
添付資料	パンフレット
担当課	阪南市役所 総務部 危機管理課 担当者名 危機管理課長 吉嶋 電話 072-471-5678 FAX 072-473-3504